

## 緩和医療科

### 【一般目標】(GIO)

生命を脅かす疾患に罹患している患者・家族の QOL の向上を目指した緩和ケアを実践できることを目標とする。

### 【行動目標】(SBOs)

- ① 初期対応として、患者の気がかりを把握する。
- ② 身体的苦痛、精神心理的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインのいずれにも配慮し、全人的苦痛として捉える。
- ③ 患者・家族と良好な人間関係・信頼関係を築く。
- ④ 主に上級医（緩和医療科医師）とともに（1）診療依頼の受理、（2）患者情報の収集、（3）患者・家族との面談、（4）苦痛の評価、（5）具体的な緩和ケアの計画、（6）主治医チームとの意見交換、（7）緩和ケアの実施、（8）他職種との連携・協働を実践する。

### 【学習方略】(LS)

- ① コンサルテーション型の診療科として、他の診療科・主治医の管理下にある入院患者あるいは外来患者に対して緩和ケアを実施する。
- ② 緩和ケアチーム (PCT) カンファレンスでは、患者の緩和ケアに関わる問題点を要約してプレゼンテーションを行い、他職種専門スタッフによる全人的な対応を学ぶ。
- ③ 以下の病態・苦痛を適切にアセスメントし、治療・ケアを計画する。  
疼痛、悪心、呼吸困難、咳嗽、腹部膨満、倦怠感、食欲不振、排便障害（便秘、下痢）、不安・抑うつ、せん妄、睡眠障害、腫瘍学的緊急症（高カルシウム血症、SIADH、上大静脈症候群、肺塞栓症、脊髄圧迫）。

### 【研修評価】(EV)

- ① 学習方略③にある病態・苦痛のアセスメントに関して、1（全くできなかった）、2（あまりできなかった）、3（どちらとも言えない）、4（まずまずできた）、5（できた）の5段階で自己評価及び研修責任者による評価を行う。経験できなかった病態は評価の対象にしない。
- ② 研修終了時まで、『痛み』と『痛み以外の症状あるいは問題（精神心理的問題など）』を1ヶ月あたり一事例ずつレポートとしてまとめる。

【週刊スケジュール】

	月	火	水	木	金
AM	病棟回診 自己学習	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
PM	緩和外来	病棟回診 PCT カンファレンス (15時30分～)	病棟回診 倫理カンファレンス (15時～)	病棟回診	病棟回診 疼痛カンファレンス (隔週 15時～)

